

『教育と愛国』上映会 & 監督トークセッション

齊加尚代×清水奈名子

モデレーター 蓑田理香

日時 2023年9月17日(日)

12:30 開場

13:00 上映

15:10 トークセッション

場所 嘉右衛門町伝建築拠点施設 交流館
栃本市嘉右衛門町2-11

料金 1200円 (完全予約制) 定員 50名

チケット販売先

<https://catflix-kyoikutoaikoku.peatix.com/>
こちらのQRからチケットを購入できます。

お問合せ catflix.jp@gmail.com

駐車場はこちらになります→
嘉右衛門町7-30



とちぎ夢ファールレ助成事業
市部の発展からの寄付金を基に、
栃本市の市民活動を支える事業です。
R3年度
ふるさと納税のつち
寄附
「市民活動でとちぎづくり事業」)

COMMENTS

戦慄せずにはいられなかった。
教育現場でし”熱狂なさファシズム”が
ここまで進行していたとは...! ー相田和弘 (映画作家)

映画の中で「戦争」というものをちゃんと学ばないと
よた起さしてしまう」という言葉がありました。よたに
この映画を見て感じた事です。自分しメディア、出版
界の中にいる人間なので、こんな風に言葉を切り替えて
いくことに対して思いを持たない人たちが、ここまで
大きな力を持ってしまった事を怖く感じました。 武田砂鉄 (ライター)

齊加尚代 (さいか・ひさよ) プロフィール

毎日放送報道情報局ディレクター
1987年毎日放送入社。報道記者などを経て2015年からドキュメンタリー担当ディレクター。
企画、担当した主な番組に、「映像15なゼベンをとるのか〜沖縄の新聞記者たち」(2015年9
月)で第59回日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞、「映像17沖縄 ままよ木霊〜基地反対運動の素顔〜」
(2017年1月)で平成29年民間放送連盟テレビ報道部門優秀賞、第37回「地方の時代」映像祭優秀賞、
第72回文化庁芸術祭優秀賞など。「映像17教育と愛国〜教書でいま何が起きているのか〜」
(2017年7月)で第55回ギャラクシー賞テレビ部門大賞、第38回「地方の時代」映像祭優秀賞。
「映像18パッシング〜その発信源の背後に何が」で第39回「地方の時代」映像祭優秀賞など。
個人として放送ウーマン賞2018を受賞。著書に「教育と愛国〜誰が教室を窒息させるのか」(岩波書店,2019)
映画版『教育と愛国』では第65回JCJ大賞、2022年日本映画ペンクラブ文化映画ベスト1
第40回日本映画復興奨励賞を受賞、監督としては2022年度全国映画賞特別賞を受賞。

清水奈名子 (しみず・ななこ) プロフィール

2006年、国際基督教大学大学院行政学研究所、博士後期課程修了(学術博士)。
国際連合の安全保障体制について研究すると同時に、東京電力福島第一原発事故後の被害調査を進め、
原発避難のタブー化や、被害の不可視化の問題を中心に研究を進めている。2007年に宇都宮大学国際学部に着任。
国際学部附属多文化公同センター「福島原発震災に関する研究フォーラム」共同代表。2017年より原子力市民委員会委員。
近著に「人権問題としてのジェンダー格差——東電福島原発事故被害から考える」「ジェンダー研究」第24号(2022年)
高橋若菜編著・清水奈名子他著「奪われたくらし——原発被害の検証と共感共苦」日本経済評論社(2022年)がある。

蓑田理香 (みのだ・りか) プロフィール

熊本県生まれの栃木県益子町在住。地域編集室蓑田理香事務所主宰。
有限責任事業組合風景社所属。広義の編集者として地域の様々な事業や活動に携わる。
民謡愛好者。主書に「先生、そんな言い方しないでください!—子どもと向き合うための「30のルール」」
(2008/エビキスタスタジオ)。